

## 211218 多奈川ビオトープ 自然観察会・自然再生活動

■ 季節は「冬」…、肌寒い中での自然観察会ですので、参加者はほとんどおられないのでは…

■ と思っていたのですが、4組8名の方が参加されました。

■ 既に「トンボ」や「チョウ」の姿はありませんでしたが、「クビキリギス」や「ナナホシテントウ」などの成虫越冬種や、ヒラヒラ飛ぶ「フユシャクガ」等を観察することができました。

■ でも、最も人気を集めたのは…、穂をつつくと中から30万個とも言われる種子が湧き出すヒメガマ!!



↑ 自然観察会



↑ 同左



↑ ヒメガマの穂はこども達に大人気



↑ ジョウビタキ



↑ イモムシ(ヒメエグリバ(蛾)の幼虫)



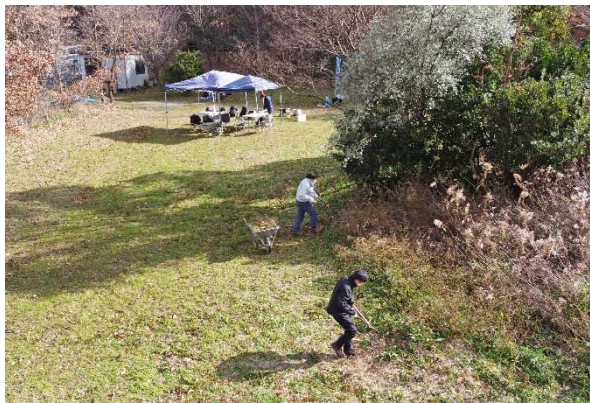
↑ 謎の卵の殻(蛇の卵?)



↑ 草地維持ゾーンで除草



↑ 同 左



↑ コセダングサを選択除草



↑ コセダングサの細断(種子の飛散防止)



↑ 湿地の維持管理



↑ 自然再生・維持活動参加者の昼食風景



↑ ビオトープ池にダイサギが飛来



↑ 活動参加者で記念撮影



※ 池の水面上を飛ぶカモの影は、イメージ画像です。